

放出街道を歩く

《行程 (全行程約6～7km)》

JR放出駅→阿遅速雄神社→森河内八幡神社→愛宕勝軍地蔵→諏訪神社→如意輪観音石仏→(クリアホール布施・社教センター)→「いちでうばし」親柱→足代安産地蔵菩薩→布施戎神社→近鉄布施駅

《放出街道》 中高野街道ともいわれた。北は、守口市の京街道、南は狭山市の西高野街道に繋がっている放出から昔の摂津国と河内国の境界に沿って、南北に蛇行して生野区巽を経て平野に至る道で、剣街道とも呼ばれていた。



① 阿遅速雄神社 式内社(「延喜式」神名帳)
第二寝屋川に長瀬川が合流する地点の北側に鎮座。主祭神は、味耜高彦根神(あじすきたかひこね)。現在は草薙剣の分霊正一位八剣大明神を配祀する。往古は八剣(やつるぎ)大明神と称したという。

葛城の地には、「鴨族」と呼ばれる古代豪族が弥生時代の中頃から大きな勢力を持っていた。葛城の鴨都波神社は、宮中八神の一社にして鎮魂の祭礼に預かり給う延喜式内名神大社である。創建は、第10崇神天皇の時代に大国主命第11世太田田根子の孫、大賀茂都美命(大鴨積命)に奉斎されたのが始めとされている。

鴨都波神社の主祭神「積羽八重事代主命(つわやえことしろぬしのみこと)」と阿遅鉏高日子根神(あじすきたかひこね)は、大国主命の子どもにあたる神。味耜高彦根神は「鴨氏」が信仰していた神であった。社伝によれば、天智天皇7年(668)に熱田神宮の草薙剣を盗みだした新羅の沙門道行は、当地付近で暴風雨に遭遇したことから、神罰をおそれて草薙剣を投げすてた。この草薙剣は一時当社が預かり、その後、宮中に保管されたが、やがて、朱鳥元年(686年)天武天皇の病が草薙剣の祟りと見なされ、草薙剣は熱田社(現熱田神宮)に移されている。

古代河内湖を挟んで対岸、現在の布施駅北側一帯に「宮ノ下遺跡」(縄文後期～弥生期の貝塚遺跡)が広がっていた。1500年程前には、その南側の旧大和川河口付近に都留弥神社が鎮座していたと思われる。また、近接する長堂あたりには葛城・御所から移住した鴨氏、加茂氏が崇敬していた大鴨積命を祭神とする鴨高田神社が鎮座していた。葛城川が大和川に合流するように、開発の神であるこの二神を奉戴していた葛城の古代氏族が、実は、5～6世紀初頭まで河内湖、周縁地を開発、支配していたと考えられている。

近世には放出村の産土神となった。例祭日の10月22日には熱田神宮より代表者が参拝し、同宮の例祭日6月5日には当社の代表が参拝するという。境内の北東隅に菖蒲池がある。往時は7月9日の夏祭、現在は5月5日に菖蒲刈神事を行う。災難除けの菖蒲と伝える。境内の細砂は脚の病気に効験ありとする。樟の大樹は白竜大権現を祀る神木で、遠方からも望見できる。府の天然記念物。

② 愛宕勝軍地蔵

愛宕勝軍地蔵は、甲冑を身につけ、右手に短い錫杖、左手に宝珠を持ち、珍しく馬にまたがるこのお地蔵さんは、勝軍地蔵の名で知られている。高さが80cm位で全身黒みを帯びたきめの細かい石肌が実にすばらしい。保存がよくまるで博物館の陳列から一時借りてきたと思われる程の逸品。



別石の台座正面には宝暦11年(1761)の銘があり、地蔵菩薩はそれよ

り古いものと思われる。

この地蔵さんは京都の愛宕大権現の本地仏として専ら火除け、防火の守護神として信仰されており、御陰でこの辺りでは今まで一度も火事がなかったと周囲の人々は誇らしげに語っている。

(森河内東2丁目。リカー&フーズヨコハタの斜め前)

③ 森河内八幡神社

旧寝屋川に長瀬川が合流し西に摂津国と分ける国境堤(剣街道)にかけた川の南岸にある森河内の集落一帯は、伝えによると中世には一面の菅原の沼地で、俗に「島」と呼ばれ、鬱蒼と森が繁る台地があり、地方の武家が多く多くの従者を連れて狩りに来た場所とも言われている。

八幡神社の由緒は不詳。字古川代地と呼ばれた所に鎮座し、品陀別命・足仲彦命・息長足姫命の三神を祀っている。小高い位置にありもとは長瀬川の自然堤防上に祀られたもの。

稲荷神社	35000社
八幡神社	24000
天満宮	10000
諏訪神社	9000
三島神社	11000
宗像神社	9000
熊野神社	4000
日吉神社	3800
春日神社	3000
戎神社	3500
住吉神社	2000
弁天社	6000
白山神社	2700
《日本史小辞典》	

④ 諏訪神社(大阪市城東区)

祭神は、建御名方神(たけみなかたのかみ・大国主命の子)と八坂刀売命(妃神)とある。創建は、諏訪神社境内に現存する古い石燈籠に「承和12年(836)4月奉寄進」と刻まれている所から今から1150年~1200年前と考えられている。

境内に諏訪天満宮がある。それは、延喜元年(901)菅原道實公、九州太宰府に左遷の途路、参拝せられ道中の安全を祈願、額一面を奉納せられたことによる。「菅公腰掛け石」が境内にあり、当時を偲ぶよすがとしている。

天満宮の社殿は、旧本殿を改装し移築したもの。精巧な細工・彫物が残る概ね500年前の建物という。

宝物として、「獅子」がある。豊臣秀吉が、大阪城を築城したとき、城塞鎮護の神と崇敬され、現存の獅子(当時一対)を始め、剣一級、御紋章の提灯及び青銅の燈籠一対の奉納があった。例祭には流鏝馬の神事を奉納する事を常例とするようになったという。雌、雄一対で雄を「白豊号」雌を「白雲号」と称していたが明治18年(1885)の大水害に雄獅子は流失し現在雌獅子(白雲号)のみが残っている。獅子の製法は和紙を貼り合はせ、漆を塗った「一閑張り」である。その舞は壮烈であり、雄大で、胴体をなす毛皮の豪華さと共に広く世に知られ無形文化としての価値高いものである。舞と囃は諏訪神社保存会により伝え継がれている。

祭神の建御名方神(諏訪大明神)は、「南宮大明神」とも呼ばれ、日本第一の「軍神」であり、「水の神」であり、鎌倉時代には日本第一の「風神」とされ、勇猛な神であり、開拓神であり、古くは狩猟農耕の神、今は産業・交通安全・縁結びの神として信仰されている。

なお、東大阪にも諏訪神社が中新開に鎮座している。神社に伝わる古文書「氏神三社興立記」によると、享祿5年(天文元年1532)、信濃国諏原の住人である諏訪連(すわのむらじ)の子孫がこの地に村を開き、本村守護のため建御名方神(諏訪大明神)・稲荷大明神・筑波大権現の三社を勧請したのが、創始であろうと伝えられている。

⑤ 如意輪観音石仏

明和2年(1765)に南側を通る旧暗越奈良街道の一里塚横にまつられていたものを府道の新設により、現在地へ移したという。像高70cm、頭に宝冠をかぶり、左手を下に支えて右手を軽く頬に当て、右足を高く片膝を立てる半跏思惟の観音像を見事に丸彫りされている。台石には「法界」「西高井田村 念昌寺 淨恵法師」「富寺一代再興 智光淨恵法師 建立」などが刻まれている。

⑥ 「いちでうばし」親柱

昔「フラワーロード本町」商店街は「川」であった
現在は道路であるが大和川付け替え以前は「剣先舟が行きかう大きな川であった」と言われている。

放出街道は暗峠街道と交差するあたりから北へ摂津の国と河内の国との境の上に重なり伸びている。国境は川であったかして、その上に作られた道路も同様に異常に蛇行している。この状態は長瀬川本流に戻るまで続いている。

一方南は「フラワーロード本町」商店街の道は、S字カーブを示し「もとは川でしたよ～」と言わんばかり。その先は「三ノ瀬公園」に至り公園を抜けて、「寿町」交差点に至り、さらに旧の柏田村。そして、このあたりで「本流である長瀬川」に接続されていたのだらうと想定されている。

大和川の付け替え（宝永元・1704）後は、元本流あった「長瀬川」の水量が減り、細々とした農業用水路的な川に変わっていった。



《「いちでうばし」架橋と大阪軌道鉄道「深江」駅（近鉄奈良線）》

大正3年（1914）上六～奈良間開通、駅名は「深江」、駅位置は現「布施」駅より西200m先。大正11年には駅名「足代」に変更。大正13年（1924）大阪線開通に合わせて「足代」駅を200m東に移行（現在の布施駅位置に至る）翌年、「布施」に変更。

大軌奈良線が開通したとき、布施村は十三街道から道を分岐させ「深江駅」まで直線道路を引くことにした。この道は、後に「フラワーロード本町商店街」となる川を越さなければならない。橋も作り「いちでうばし」と名付けられている。開通から10年後、大阪線を作ることになり、分岐点は「足代駅」から東方200m先で、そこに規模の大きい新駅舎を立てた。旧駅舎は廃止になり、これ以降「いちでうばし」及びそれより西への通行は途絶え橋の使命は終わった。しかし、橋の撤去はこの時ではないと思う。たぶん、現在「放出街道」である以前の川がその使命をなくし、堤で埋められたときであると思われる（田村 實さんの話）

⑦ 足代安産地藏菩薩

傍の略記によると、「東足代北町の聖源寺（明治5年に廃寺）境内、その付近の辻などに祀られていた。昭和5年（1930）5月に始めて祠堂を建立し祀った。地藏菩薩像の材質は、安山岩製で高さ60cm、幅36cm、奥行き30cmの自然石の表面に右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、直径2.3cmの光背を有する像高41cmの地藏立像が蓮座上に薄肉に彫出する。室町時代末期の作品で、胸間連珠の瓔珞（ようらく 首飾り）が刻まれている。刻銘は、中央の立像の両脇に向かって右に「永禄五（1562年）壬戌（みずのえいぬ）十月二十四日」、また向かって左には、「河内国渋川郡足代庄衆生」と印刻されている。」という。昭和43年に東大阪市有形文化財（彫刻）に指定されている。

《足代地車》 2001年新調された地車。布施周辺では唯一。

《元禄寿司》 昭和33年（1958）「廻る元禄寿司1号店」故・白石義明がビール工場の製造に使われているベルトコンベアにヒントを得て開発した「旋回式食事台」が始まり。

《宮ノ下貝塚遺跡》 布施・イオン周辺の縄文後期遺跡

貝塚は、貝層20cm～1mの厚さで東西10m、南北25mの広さがあり、淡水産（セタシジミ、タニシ）汽水産（カキ、ヤマトシジミ）の貝殻。海水産（ハマグリ、イシダイ、サワラ、ボラ）の貝や魚骨とスッポンの骨。イノシシなどの獣骨が出土し、古い縄文時代からの漁撈活動の実態と徐々に淡水化した実態が明らかになっている。凸帯文土器、縄文期の舟橋・長原式土器、滋賀里Ⅲ式土器等が、そして、東北地方に多くの発掘例のある独鈷石が出土している。貝塚の形成は、弥生中期中葉（2000年前）に終わるが、集落をあげての全面的稲作農耕が行われていたことは中期後半の掘立柱建物、杭列、土墳墓、木棺墓が検出されていることから分かる。

⑧ 都留彌神社跡地に鎮座する布施戎神社

《最強のパワーを誇る布施戎神社に秘めたる歴史》

都留彌神社が移転した時に、当境内地は、地元足代の有志へ払い下げられ、民有共有地として保管されてきた。この由緒ある境内地跡に、地元の要望に従い、昭和29年（1954）西宮神社から戎大神（蛭子・ひるこの尊）の御霊代（みたましろ）を勧請して布施戎神社の祭祀が始まった。社紋は三つ柏と三つ蔓柏



三つ柏・西宮神社



蔓柏・今宮戎神社

周辺地域が商業地として発展するにともない、更に昭和63年（1988）には大阪の今宮戎神社（事代主命）を勧請した。以来厳粛な祭祀を執行して以来、参拝者も飛躍的に増加し、毎年1月9日、10日、11日の十日戎には商売繁盛を願う参拝者が群れをなし、境内地は身動きができないほどの賑わいとなっている。

主祭神のえびすは漁業や海上安全、特に商売繁盛の神様で有名で、庶民に親しみ深く大変人気がある。「えびす」には戎・恵美須・恵比寿・恵比須・胡などの漢字も当てられているが、恵比寿そのものが異邦人を意味する言葉で、異郷から来臨して幸せをもたらす客神であったものと考えられている。

西宮神社（戎社3500社の総本社）の祭神、「えびす神」の中でも一番古くから語られているが、『古事記』『日本書紀』の国生みの条に登場する蛭子（ひるこ）の神。この神は、伊弉諾（いざなぎ）伊弉冉（いざなみ）の神が日本国土を創世する際に、その第一子として誕生したが、手足の不自由な障害者と描かれ、天磐樟船（あめのいわくすぶね）に乗せられ捨てられ自凝（おのころ）島（淡路、御原）から流されてしまう。」と記されている。流された蛭子神が流れ着いたという伝説は日本各地に残っているが、漂着物を「えびす神」として信仰するところが多い。



西宮に鎮座したのは、「茅渟の海と云われた大阪湾の、神戸和田岬の沖より出現された神像を、鳴尾の漁師がお祀りしていましたが、神託によりそこから西の方、この西宮に遷し、祀られたことに起源を発しています。」という。後に、鎌倉時代の『源平盛衰記』には次のような記事が登場する。

「蛭子は3年迄足立たぬ尊とておはしければ、天磐樟船に乗せ奉り、大海が原に推し出されて流され給ひしが、摂津の国に流れよりにて、海を領する神となりて、戎三郎殿と顕れ給うて、西宮におはします。」

すでに鎌倉時代には、このように、蛭子（ひるこ）神が「えびす神」という認識がなされていたようだ。

また、今宮戎神社の事代主神＝八重事代主神が「えびす神」という説がある。この神は『古事記』『日本書紀』によると大国主命の御子神であるとされている。

「事代主は、葦原中国平定において、武甕槌命（たけみかづち）らが大国主に対し国譲りを迫ると、大国主は美保ヶ崎で漁をしている息子の事代主が答えると言った。そこで武甕槌命が美保ヶ崎へ行き事代主に国譲りを迫ると、事代主は「承知した」と答え、船を踏み傾け、手を逆さに打って青柴垣に変えて、その中に隠れてしまった」。漁をしていた神様だから、よく鯛を持った姿で描かれるいずれにも船に乗っており、海辺で魚釣りを楽しんでいたように伝えられており、その様子がえびす様の神影の釣り姿と結びつくところから「えびす神」の神格に繋がったようだ。

ではなぜ、布施えびす神社が事代主神を勧請したことで、布施えびす神社は大繁盛、町を活気づけることができたのか。

実は、えびす神となった事代主神は元来「鴨氏」が信仰していた神であるということ。

現代、加茂氏、末裔含め多くの方が布施・長堂周辺に居住されている。祖先神の事代主命・えびす神を勧請したことで、都留彌＝「対るむ」神と人々をつなぐ土地の持つ霊力と開発神・事代主と奉賛してきた子孫達のパワーが相乗作用をもたらし、大きなパワーを創り出されたと考えることも可能ではないか。

布施えびす神社の興隆には、意外な繋がりが見えて歴史のおもしろさを感じる。